

Buzz

21世纪日潮的最初10年

日语阅读训练

通过流行语看日本



新日本语能力测试

对应!

顾问：(日)吉冈英幸

编著：《日语阅读训练——通过流行语看日本》编委会

全新日语教材诞生

新对应

对应新日本语能力测试N1级阅读水平

新信息

通过流行语 全新介绍21世纪你不知道的“日本”、“日本文化”和“日语”

新编委

中日两国的日语学和日语教育的专家、社会学和经济学的专家、商界白领、画家、设计师等强强联合，跨越国境和领域共同编写

外语教学与研究出版社



日语阅读训练

通过流行语看日本

顾问：(日)吉冈英幸

编著：《日语阅读训练——通过流行语看日本》编委会

外语教学与研究出版社

北京

图书在版编目(CIP)数据

日语阅读训练: 通过流行语看日本 / 《日语阅读训练: 通过流行语看日本》编委会编著. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2012. 1
ISBN 978-7-5135-1665-5

I. ①日… II. ①日… III. ②日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2012) 第 007831 号

universal tool · unique value · useful source · unanimous choice



悠游网—外语学习 一网打尽
www.2u4u.com.cn

外研社旗下网站, 打造外语阅读、视听、测试、共享的全方位平台

登录悠游网, 您可以:

- 阅读精品外语读物, 独有资源, 涵盖广泛, 学习必备。
- 观看双语视频、名家课堂、外语系列讲座。
- 多元外语测试, 检测外语水平和专项能力, 获得外语学习方案。
- 外语资源共享, 网友互动, 小组讨论, 专家答疑, 语言学习无疑难。
- 网站推出众多精彩大礼包, 可通过积分换购。

贴心小提示:

悠游网增值服务: 提供海量电子文档、视频、MP3、手机应用下载!

出版人: 蔡剑峰

责任编辑: 彭冬林

执行编辑: 曹莹

封面设计: (日) 松本和晃

出版发行: 外语教学与研究出版社

社址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网址: <http://www.fltrp.com>

印刷: 北京京科印刷有限公司

开本: 787×1092 1/16

印张: 14.5 小册子: 1

版次: 2012 年 2 月第 1 版 2012 年 2 月第 1 次印刷

书号: ISBN 978-7-5135-1665-5

定价: 35.00 元

* * *
购书咨询: (010)88819929 电子邮箱: club@fltrp.com

如有印刷、装订质量问题, 请与出版社联系

联系电话: (010)61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 216650001

编者一览

策划・统筹・编辑・校对

东瀛项目*
(日) 田中祐辅 肖辉 (日) 伊藤由希子 王慧隽 (日) 川端祐一郎
* ZIPANGU: <http://www.zipangu-web.com>

课文等各部分编写人员

词汇和语法解释:
第2、3、4、5、6、7、8、9、11、12、15和18课主课文、副课文及第16和17课主课文(包括第1、10、13、14、19课中出现的重复词汇和语法)
(日) 古贺万纪子 (日) 小松知佳 (日) 乡亚里沙 (日) 山口友里惠
第1、10、13、14、19课正课文、副课文及第16、17课副课文(重复词汇和语法除外)
(日) 田中祐辅 肖辉 (日) 伊藤由希子 王慧隽
课前思考练习・主课文内容确认练习・课后思考练习:
第2、3、4、5、6、7、8、9、12、15、16、17、18课
(日) 汤本香 (日) 大内薰子 (日) 田中佑 (日) 山下悠贵乃 (日) 三木杏子
第1、10、11、13、14、19课
(日) 田中祐辅 肖辉 (日) 伊藤由希子 王慧隽
主课文要点确认练习:
(日) 田中祐辅 (日) 伊藤由希子

主课文・主课文注释・副课文・副课文注释:

	主课文	主课文注释	副课文	副课文注释
第1课	伊藤海彦	川端祐一郎	伊藤海彦	川端祐一郎
第2课	津山孔明		津山孔明	津山孔明
第3课	甲斐明里	甲斐明里	甲斐明里	
第4课	关田庸介	关田庸介	关田庸介	关田庸介
第5课	田中佐二郎	田中佐二郎	铃木宙	
第6课	关谷弘毅	关谷弘毅	关谷弘毅	关谷弘毅
第7课	伊藤由希子	伊藤由希子	伊藤由希子	伊藤由希子
第8课	关田庸介	关田庸介	关田庸介	关田庸介
第9课	高桥速水	川端祐一郎	田中祐辅	王慧隽
第10课	田中祐辅	田中祐辅	田中祐辅	田中祐辅
第11课	川端祐一郎	川端祐一郎	田中祐辅	田中祐辅
第12课	米山裕之	米山裕之	米山裕之	米山裕之
第13课	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎
第14课	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎
第15课	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎
第16课	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎
第17课	村尾雄太	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎
第18课	室冈健志	室冈健志	室冈健志	室冈健志
第19课	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎	川端祐一郎

研究调查:

(日)田中祐辅 肖辉 (日)伊藤由希子 王慧隽 东瀛项目学生组*(陈波 成超 成洁 方静 方映霞 葛斐 侯柯楠 韩启阳 侯梦 黄叶娟 焦世佳 金艳 李舒叶 梅润智 潘友航 钱周 任姍 司念 王安琪 吴歆怡 许必涵 徐静文 徐瑶 杨佳娴 俞青 叶雨薇 张昊 张虹 周欢 周娇妮 赵靓 郑思遥 张文婷 张玥 张志洁) 复旦大学学生实践调查员(褚晶文 方倩婕 黄鋆 李隽逸 马开辰 杨雨晨 朱旭峰 周懿琮)

封面·封底插画:(日)吉竹伸介

设计:(日)松本和晃

教材开发支援网站:(日)松本和晃

编写者:

田中 祐辅 早稻田大学研究生院日语教育研究科博士后期课程,日本学术振兴会特别研究员

肖 辉 大连外国语学院日语学院副教授

伊藤由希子 大连外国语学院日语学院讲师

王 慧 隽 早稻田大学研究生院日语教育研究科博士后期课程

川端祐一郎 邮政株式会社

古贺万纪子 韩国外国语大学口译翻译学部日本语口译翻译学科专任讲师

小松知佳 早稻田大学日语教育研究中心兼职教师

乡亚里沙 国际交流基金21世纪东亚青少年大交流计划青年日语教师

山口友里惠 早稻田教育(泰国)早稻田日本语言文化学校专任讲师

汤本 香 筑波大学研究生院人文社会科学研究科博士课程

大内 薰子 筑波大学研究生院人文社会科学研究科博士课程

田中 佑 筑波大学研究生院人文社会科学研究科一贯制博士前期课程

山下悠贵乃 筑波大学研究生院人文社会科学研究科博士前期课程

三木 杏子 筑波大学研究生院人文社会科学研究科博士前期课程

伊藤 海彦 IT媒体株式会社

津山 孔明 公司职员

甲斐 明里 日本学术振兴会特别研究员

关田 庸介 株式会社新潮社

高桥 速水 国际学院日语学院专任讲师

田中佐二郎 神奈川県立生田东高级中学日语教师

铃木 宙 早稻田大学文学部文学科

关谷 弘毅 东京大学研究生院教育学研究科博士课程

米山 裕之 公司职员

村尾 雄太 横滨银行

室冈 健志 加州大学伯克利分校经济系在读博士

松本 和晃 松本专利事务所

远藤 梓 印刷公司设计师

本书编写获以下奖学金资助:

奖学金名称:青年精英研究奖励奖学金

资 助 人:日本财团

監修者のことば

本書は、中国の日本語学習者の7割近くを占める、大学で日本語を専攻している学習者を対象とした読解教材です。

本書の大きな特徴は、若者が最も関心を持つと思われるテーマを軸にした切り口で、現代日本の実像を捉えたところです。2001年以降の日本社会で大きな反響を呼んだ「流行語」を取り上げ、その「流行語」をテーマにした19のエッセイとコラムで構成されています。「流行語」は、事前に中国の大学生400名弱を対象に興味や関心を調査した上で、日本のマスコミなどで取り上げられ話題になったその年の社会を反映する日本語などから選定したものです。そのため、従来の多くの教科書のように、日本のいいところだけを描くのではなく、現代日本をリアルに捉え、中国の大学生の知的好奇心に応えられるものとなっています。本書のもう一つの特徴は、日本語能力試験N1の合格を目指した教材としたことです。中級後半から上級にかけての重要な語彙や文型の選定はもちろん、課題遂行のためのコミュニケーション能力が育成できるように、理解力を深めた上で自らの既有知識を生かして中日比較をしたり、自らの考えを整理して発信したりするようになっています。こうした特徴を可能にしたのは、中日両国の日本語教育・日本語学の専門家や、多様な分野で活躍する日本人が多数作成に携わったからです。

これまでにないユニークな日本語教材ができたことを嬉しく思います。

早稲田大学大学院日本語教育研究科
教授 吉岡 英幸

『日语阅读训练——通过流行语看日本』とは？

——このテキストの特徴と編集方針

田中祐輔・肖輝・伊藤由希子・王慧雋・川端祐一郎

『日语阅读训练——通过流行语看日本』は、21世紀最初の10年（2001年から2010年）の日本社会を象徴する「流行語」を本文のテーマに据え、主に中国の大学で日本語を専攻する学生を対象として制作された日本語読解教材です。独学での利用に加え、日本語専攻3・4年次における「精読（総合日本語）」授業での利用も想定して制作されています。

国際交流基金の調査によれば、現在、中国の日本語学習者は約83万人であり、日本語学習者数は世界第2位となっています。これだけ学習者が多ければ当然そのニーズもさまざまであり、こうした多様化するニーズに配慮した教材を開発することが日本語教育の専門家の間でも急務とされてきました。しかし当然のことながら、全ての学習者のニーズに普遍的に対応できる教材は存在し得ません。理想的な教材とは、教育現場や学習者それぞれの個別の事情に合わせて作られるものでしょう。したがって、少なくとも読者層を明確に限定した上で、その読者層に特徴的な「課題」や「学習状況」、「問題意識」、「興味・関心」等にしかりとフォーカスすることが必要です。本テキストを制作する上では、次の3点に特に配慮しました。

まず、①大学で日本語を専攻する80后・90后世代の学習者の「興味・関心」に合致した話題を本文で取り上げ、「日本の今」（近年の日本人の生活、文化、考え方等）に多角的な観点からアプローチする教材とすること。②中級レベル以上で、日本語能力試験N1合格を目指す学習者に向けた教材とすること。そして、③学習者が、本テキストの読解や普段の学習・情報収集を通じて得た情報に基づいて、自ら考え、発信できるような力を育成する教材とすることです。

こうした理念に基づき制作された本テキストの特徴、編集体制、編集方針及び構成について、以下のとおり詳しく説明します。

1 本テキストの特徴

(1) 80后・90后の日本語学習者の「興味・関心」に合わせた教材

本テキストの最大の特徴は、80后・90后の学習者の「興味・関心」に合わせた内容とし、リアルな「日本の今」「今の日本」に多角的な観点からアプローチすることに重きを置いて制作されていることです。

学習者の「興味・関心」を明らかにする方法として、具

《日语阅读训练——通过流行语看日本》是一本日语精读教材，以反映21世纪最初10年（2001年—2010年）日本社会现象的“流行语”为题材，面向大学日语专业学生编写而成，适合日语专业三四年级精读课或综合日语课使用，也可以用于自学。

日本国际交流基金的调查显示，目前中国学习日语的人数已达83万人左右，占世界第二位。有如此多的日语学习者就必然有多样的日语学习需求。因此，顾及多样化的日语学习需求开发相应的教材是日语教育专家的当务之急。当然，现实当中能够应对所有日语学习需求的教材并不存在。理想的教材应该是结合不同的教学现场和学习者情况编写而成。因此，教材开发首先必须要明确读者层，将焦点对准他们各具特点的课题、学习状况、问题意识和兴趣爱好等等。

本教材编写者在编写过程中，尤其注意到以下三点。

第一，题材尽可能贴近目前在大学日语专业学习的80后和90后学生的兴趣爱好以及关心事项，多角度探讨日本的现在（近年来日本人的生活、文化和思想等）。第二，面向日语中级水平以上，希望通过日语能力测试N1级的日语学习者。第三，培养日语学习者根据本教材的阅读练习、平时的学习和信息收集活动获得的信息，独立思考表达自己意见的能力。

编写者根据上述理念编写了本教材，其特点、编写体制、方针以及构成如下。

1 本教材的特点

(1) 贴近80后和90后日语学习者的兴趣爱好以及关心事项

本教材最大的特点就是优先结合80后和90后日语学习者的兴趣爱好以及关心事项进行选材，多角度探讨日本的现在和当今的日本，据此进行编写。

为了明确日语学习者的兴趣爱好和关心事项，编写者分三次在复旦大学和大连外国语学院对1—4年级共计386名学

体的には、復旦大学及び大連外国語学院において計3回にわたり、1年生～4年生までの合計386名の学生に対するアンケート調査を実施しました。調査結果から得られた示唆は、大きく二つあります。

一つ目の示唆は、「日本文化」への関心が依然として高いものの、そこでいう「文化」は従来の日本語教育で頻繁に取り上げられてきたような、型にはまった「日本文化」像ではないということです。日本文化というと、歌舞伎や俳句のような伝統文化や、アニメやマンガといった一部のサブカルチャーにスポットが当たりがちですが、それだけが「現代日本社会」を代表しているわけではありません。むしろ、スポーツやビジネス、人々の日常生活などを含んだ幅広い分野にわたり、もっと身近でかつ生々しくリアルな「今の日本の文化」への関心が高いことが判明しました。言い換えれば、中国の大学で日本語を学ぶ若い学習者が知りたいのは、「日本では今、何が起こり、人々は何を考え、どのように生きているのか」だということです。

二つ目の示唆は、学習者は日本語で日本人と「コミュニケーション」をすることを大きな目的の一つにしているということです。これは当たり前のことですが、読解の教材においてこの点が重視されることは、これまで多くはありませんでした。日本の大学への留学や日系企業への就職などの際に、日本語を使用して日本人とのコミュニケーションを進める上で、基礎的な日本語能力が問われることは当然のことですが、それに加えて「今、日本社会で何が話題になっているか」を知っておくことも極めて重要です。特に、これから留学などを目指す若い学習者にとっては、「今の日本の人々の生活、文化、考え方」を知ることは大変有用で、これは中国国内にいる段階では、「読むこと」によってでしか実現できない場合が多いでしょう。

「インターネットのニュースを見ればいい」といった意見もあり、たしかにインターネットの情報は豊富で、ランダムに生の情報に触れるのは良いトレーニングになります。しかし多くの学習者にとって、重要な情報と重要ではない情報との区別が非常に難しいという実態があります。むしろ、「日本社会をよく知る日本人が紹介する」というスタンスで整理された情報を入りにして、その上で学習者が得た情報を加え、自ら考え、さらに探求してゆくという形で学んだほうが、バランスよく知識が吸収でき、より発展性のある学習となるでしょう。本テキストは、こうしたニーズに応えようとするものです。

また、インターネットのニュースなどを探する場合、「ごく最近の情報」に知識が偏ってしまいがちですが、本テキストは「21世紀最初の10年」という範囲の中から重要な情報を選んで紹介しています。もちろん日本社会の全てを代表

生进行了问卷调查。调查结果大体可以归纳为两部分内容。

一是日语学习者对“日本文化”依然抱有浓厚的兴趣，但是他们所说的“文化”并非是以往的日语教育中经常提及的、已陷于固定模式的“日本文化”。一提到日本文化，人们往往将重点放在歌舞伎和俳句等传统文化以及动漫等一部分次文化上，但是仅凭这些是不能够全面代表“现代日本社会”的。调查显示，日语学习者对体育、商务等包括人们日常生活在内的广泛领域中与自己息息相关、生动现实的“当今的日本文化”抱有浓厚的兴趣。换言之之，在中国大学学习日语的年轻人更想了解的是日本当今发生的事情、人们的思维 and 生活方式。

二是日语学习者把运用日语与日本人进行交流作为学习日语的主要目的之一。虽然说这一目的是学习日语理所应当的，但是迄今为止重视这一点的阅读类教材并不是很多。到日本大学留学以及到日本企业就业，使用日语与日本人交流时，基本的日语能力固然重要，但是在此基础上事先了解当今日本社会的流行话题也是极其重要的。尤其是对打算将来留学的年轻人来说，了解当今日本社会、日本文化以及日本人的生活 and 思维非常有用。这些在中国国内往往只能通过阅读相关的信息获得。

有人说，通过阅读因特网上的新闻就足够了。的确，因特网信息丰富，通过因特网随时接触新信息是一个好的练习方法，但是事实上，更多的日语学习者无法区分重要信息和非重要信息。因此可以说，日语学习者通过了解熟知日本社会的日本人介绍整理的信息，然后在此基础上进行独立思考，进一步探求相关信息的学习方式，可以使学习者均衡地汲取知识，取得更大的进步。本教材正是为满足学习者这种需求而开发的。

另外，日语学习者利用因特网搜索相关消息的时候，很容易偏重于了解“最近的信息”，而本教材将范围扩展到21世纪最初10年，从中选取重要的信息作为题材。虽然说这些题材不能代表日本社会的方方面面，但是作为促进交流的素材发挥的重要作用毋庸置疑的。

しているわけではありませんが、「コミュニケーション」の材料として役立つ可能性が高い知識であることは間違いないでしょう。

(2) 日本語能力試験N1合格を目指す「読解」教材

本テキストの制作にあたり配慮した第2のポイントは、中級レベル以上の日本語学習者を対象として、日本語能力試験N1に合格できるだけの読解力養成を目指すということです。

本テキストの制作委員会のメンバーには日本語教育や日本語学の専門家が多数関わっており、制作にあたっては、日本語能力試験が2010年より大幅に改定されたことも考慮したうえで、新しい日本語能力試験（以下、「新試験」とする）に対応できるよう注意しました。「N1」レベルの合格を目指すにはどういった知識・能力が必要であるかをよく検討したうえで、本文の難易度や、テキスト中のトレーニング用問題などが作成されています。

新試験の合格基準で大きな特徴となるのは「課題遂行のための言語コミュニケーション能力」です。「課題遂行のための言語コミュニケーション能力」とは、『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』（以下「ガイドブック」）によると、「日本語学習者が、それぞれの目標言語使用領域で日本語を使用して課題を遂行するための日本語能力」と定義されており、この能力は「言語知識」「読解」「聴解」の三つに分けて測られるとされています。

①言語知識

課題遂行に必要な、日本語の文字・語彙や文法に関する知識

②読解

言語知識を利用しながら、文字テキストを理解して、課題を遂行する能力

③聴解

言語知識を利用しながら、音声テキストを理解して、課題を遂行する能力

(ガイドブック)

本テキストが対象とするのは、主に上記①と②です。ガイドブックに「N1、N2、N3レベルでは基礎段階のN4、N5に比べて、問題構成において、読解の比率を高くしています。」とあるように、新試験では読解能力を問う問題の比率が高くなっています。本テキストも、言語知識を利用しながら文字テキストを理解して、課題を遂行する能力の育成を重視して制作されています。

(2) 有助于学习者通过日本語能力测试N1级的阅读教材

本教材编写过程中重点考虑的第二点是面向具有中级以上水平的日语学习者，帮助其培养阅读能力，通过日本語能力测试N1级。

本教材编写委员会成员多为从事日本語教育和日本語学研究的专家，在本教材编写过程中充分考虑到日本語能力测试于2010年大幅度修改，特别注意在本教材中应对新日本語能力测试的要求。编写者在充分研讨日本語能力测试N1级所需知识点和能力的基础之上，确定了本教材的难易程度和练习题。

新日本語能力测试最大的特征就是考察“完成课题所需的语言沟通能力”。在《新日本語能力测试指南》中，对“完成课题所需的语言沟通能力”所做的定义是“日语学习者在需要使用日语的各个领域，运用日语解决课题所需的日语能力”，该能力是通过“语言知识”、“阅读”和“听力”三部分测试进行考核。具体如下：

①语言知识

完成课题所需的日语文字、词汇和语法的相关知识。

②阅读

运用语言知识，理解文字篇章，完成课题的能力。

③听力

运用语言知识，理解语音篇章，完成课题的能力。

本教材涉及的内容主要为语言知识和阅读部分。从《新日本語能力测试指南》来看，新日本語能力测试N1级将提高考核阅读能力的出题比例。因此，本教材尤其重视培养日语学习者利用语言知识理解文字篇章，完成课题的能力。

(3) 自ら考え発信する力を育成する教材

本テキストは、語学の習得のみならず、大学生としての「知ること」への欲求、「考える」ことに喜びを感じる心に応えたいと考えて制作されています。卒業すればすぐ社会人になる大学生にとって、「自分で考える」という姿勢と能力は不可欠です。新試験のガイドブックに示されている「課題を遂行する」とことは、学習者自身が考え、それを日本語で発信することであるとも言えます。その一助となることを目的として、本テキストの本文では、単なる「情報の紹介」ではなく、書き手がその情報について何を思い、どう考え、どんな意見を抱いているのかが明確に示されています。また、学習者は課ごとに設けられた「小設問」や「内容確認」を通して文章への理解を深めた上で、「タスク」という形で自ら考え発信する活動が設けられています。

2 本テキストの編集体制

上述のような目的を達成するために、本テキストの制作・編集を行うスタッフの体制も、以下のような点に配慮して構成されています。

- ①日本語能力の確実な養成を可能とするために、中日両国から日本語教育や日本語学の専門家が複数参加すること。
- ②「日本」「日本語」「日本文化」を多面的に捉えるために、多様な分野の日本人が関わること。
- ③「学習者のニーズ」を十分取り入れるため、中国の大学で日本語を学ぶ若い学習者にも主体的に教材制作プロセスに関わってもらい、意見と協力を得ること。
- ④中日にまたがる幅広い制作スタッフが「チーム」として教材制作を進めるために、ウェブ上に活動のプラットフォームを設けること。

特に我々が重視したのは、②と③です。本テキストの制作には、日本語教育・日本語学の専門家のみならず、多種多様な分野の人材が参加しています。

具体的には、まず、大学の日本語学科や、日本語学校で教鞭を執る日本語教師及び研究者、日本の早稲田大学大学院及び筑波大学大学院で日本語学・日本語教育学を専攻する大学院生、そして東京大学、慶應義塾大学などの大学院で日本語教育とは異なる分野の研究を行っている大学院生、さらに、日本の大手出版社、金融機関、IT企業、物流会社などで働くビジネスマンや、高校国語教諭などが関わっています。

また、学習者の意見を十分に取り入れるため、すでに述

(3) 注意培养日语学习者表达自己意见的能力

本教材在编写过程中，不仅考虑到日语学习者知识的习得，还充分考虑到满足他们的求知欲和让他们体会到思考的喜悦。对于将来大学毕业走向社会的大学生来说，抱有独立思考的态度和能力是不可缺少的。《新日本语能力测试指南》中提到的完成课题是指日语学习者独立思考，用日语表达自己意见。为了帮助日语学习者培养独立思考和表达自己意见的能力，本教材不仅介绍有关信息，更重要的是让学习者理解课文作者对有关信息的看法和意见。读者可以通过每课的“要点确认练习”和“主课文内容确认练习”加深对课文的理解，并在此基础上通过“课后思考”的形式表达自己的意见。

2 本教材的编写体例

为了达成上述目的，本教材的编写者充分考虑到以下四点，确定了编写体制。

- ①为了切实培养日语学习者的日语能力，由中日两国从事日本语教育和日本语学研究的多名专家参与编写；
- ②为了多角度介绍日本、日语和日本文化，由多领域的日本人参与编写；
- ③为了充分把握日语学习者的需求，邀请大学日语专业的学生作为主体参与教材编写，提供意见和协助；
- ④为了使中日间不同领域的编写委员会成员更好地集体编写本教材，在网络上开设了活动交流平台。

其中，我们尤其重视的是上述的②和③。本教材编写过程中，不仅有从事日本语教育和日本语学研究的专家，还有多个领域的人才参与。具体来说，既有在大学日语系授课的日语教师和研究人員、日本早稻田大学研究生院日本语教育学专业的研究生，也有东京大学、筑波大学、庆应义塾大学研究生院非日语教育专业的研究生，还有在日本大型出版社、金融机构、IT企业、物流公司工作的白领、高中语文教师等等。

为了听取日语学习者的意见，编写者对近400名中国大学生进行了问卷调查，并在教材编写过程中不断听取了众多学习者的意见。

べたように400名近い中国の大学生へのアンケート調査を実施したことに加え、教材制作のプロセスの中で継続的にたくさんの学習者に意見をもらいました。

3 本テキストの編集方針と構成

(1) 流行語というテーマ

本テキストは、2001年から2010年の間に日本社会に登場し、21世紀最初の10年間の日本社会を象徴するような「流行語」を取り上げ、その流行語をテーマとした19本のエッセイと、19本のコラムを材料として、日本語の読解トレーニングを行うものです。

これらは、以下のような点に配慮して執筆されています。

①現代日本に対する理解を深める

流行語とは、世間一般に広く知れ渡った言葉であり、かつ、ある時代（この場合は「21世紀最初の10年」）の世相を象徴するものです。流行語は単なる言葉ではなく、その言葉が流行した背景には様々な社会現象、文化現象が関わっています。本テキストのエッセイとコラムは、そうした流行語の背景となった日本社会の出来事に触れ、「現代の日本」に対する理解を深めることを目的として執筆されています。

②日本人の多様な考えと意見に触れ、自ら考えられるテキストにする

本テキストのエッセイとコラムは、なるべく日本人の多様な考え方を紹介しよう心がけて制作されました。一つの「流行」や「社会現象」をめぐる、単なる情報の紹介にとどめず、執筆者自身を含む様々な日本人の考え方、異なる意見を本文に盛り込んでいます。そうした多様な見方が存在することを知った上で、学習者自身が考えることを促し、その考えを日本語で発信する力の育成を目指しています。

(2) 本テキストの構成

以上の編集方針に基づいた上で、新試験N1合格を目指す学習のために、本テキストでは、以下のような構成を採用しました。

ウォームアップ	語彙・文法の説明
本文	内容確認問題
小設問	タスク
本文に関する注釈	コラム

それぞれの構成要素の目的と概要、及び使い方は本テキストの「読解学習の進め方」に示すとおりです。

3 本教材の编写方針と構成

(1) 以流行語为题材

本教材选取了2001年－2010年间流行于日本社会，能代表21世纪最初10年日本社会的流行语，将其作为题材，编写了19篇主课文和19篇副课文，对学习进行日语阅读训练。

编写者在编写过程中考虑到以下几点。

①加深学习者对现代日本的理解

日本的流行语一般为世人所熟知，最能反映某一时代（本教材着眼于21世纪最初10年）的世态。流行语不单纯是词汇，而是能够反映涉及该词汇流行背景的各种社会和文化现象。本教材的主课文和副课文，触及到这些产生流行语的日本社会情况，目的在于加深学习者对现代日本的理解。

②使学习者接触到日本人多样的意见和想法，学会独立思考。

本教材的主课文和副课文尽可能地介绍日本人多样的思维。在本教材中，关于某个流行现象和社会现象，不仅仅停留于介绍信息本身，而是加入包括作者本身在内的众多日本入多样的思维和不同的想法，目的在于使学习者认识到现实当中存在着形形色色的看法，促使其独立思考，培养其运用日语表达自己思想的能力。

(2) 本教材的组成

编写者基于上述编写方针，在本教材中采用下列构成，以使学习者利用本教材学习通过新日本语能力测验1级。

课前思考练习	词汇和语法解释
主课文	主课文内容确认练习
主课文要点确认练习	课后思考练习
主课文注释	副课文

各部分的目的和概要以及使用方法参照“本教材的组成和使用方法”。

(3) 流行語の選定

最後に、「流行語」とはどのような基準で選定されたものであるかを説明します。流行語の選定にあたっては、日本でその年の最も重要な流行語を選定し、関係者を表彰する「ユーキャン新語・流行語大賞」（ユーキャン株式会社、株式会社自由国民社）というイベントや、新聞社が年末の紙面で特集する「今年の10大ニュース」、『日経トレンド』誌（株式会社日経BP）のようにその時々ヒット商品を追いかける雑誌、またインターネット上の流行語を取り上げる「ネット流行語大賞」など、様々なメディアを参考にしました。そうしたメディアから「流行語」の候補を挙げ、日本語学習者の意見を調査しつつ、制作委員会内で討議を行ったうえで総合的に判断し、選定しています。

当初の予想通りですが、流行語を選定する上で最も参考になったのは、今や国民的風物詩として定着した感のある「ユーキャン新語・流行語大賞」でした。また、21世紀最初の10年の出来事を振り返るという上では、新聞など一般メディアも非常に参考になりました。ただし、流行語についての解釈や、流行そのものについて述べた所感は、あくまでも本テキスト制作委員会の責任に基づくものであり、参考にした各メディアとは直接的には関係のないものです。

全19課という分量の制限があるため、あらゆる流行語を網羅するということはもちろんできませんでした。例えば、近年の日本で本当によく使われるようになった「アラサー」（30歳前後の人々のこと）、「KY」（「場の空気が読めていない」の意味）、「女子会」（女性だけの飲み会や食事会のこと）といった言葉も、なるべくなら取り上げたかったのですが、残念ながら収録しきれませんでした。

しかし本文に触れていただければ分かる通り、本テキストの流行語はテーマ的にはかなりバランス良く選定されており、制作途中で中国人の大学生向けに行った試用調査でも、学習者にとって非常に有用な内容になっているという評価が得られました。予め「日本で生活する若者たち」に対してそれぞれの流行語候補の重要度についてアンケート調査を実施し、また中国の学習者に対しても、関心の高い流行語はどれかについてアンケート調査を実施して、確実に優先順位をつけるよう配慮しましたので、選定基準は客観的に信頼できるものであると思われます。

本テキストを読んで関心を持った読者は、是非、これの一つのきっかけとして、本テキストが扱い切れなかった「流行語」や「流行」を始めとする日本語・日本文化についても理解を深め、広げていただければと思います。中国で日本語を学ぶ学習者のよりよい学びのために、本書が役立てば幸いです。

(3) 流行語の選定

在日本、毎年U-CAN株式会社和株式会社自由国民社都会举行“U-CAN新語・流行語大賞”活动，评选出当年日本最重要的流行語并对相关人员进行表彰，部分报社会在岁末特刊登载当年十大新闻，株式会社日経BP主办的《日経TRENDY》等一些杂志会总结当年的畅销商品，网络上会评选“网络流行語大賞”等等。本教材的编写者参考了上述媒体，列出本教材的候选流行語，通过调查日语学习者意见，经编写委员会内部讨论，综合判断选出本教材最终使用的流行語。

在选定流行語过程中，参考最多的是“U-CAN新語・流行語大賞”，它已成为日本国民认可的一项活动。在回顾21世纪最初10年的大事过程中，报纸和一般媒体也成为编写者的重要参考。但是，对流行語的解释以及对流行事物的想法和意见均是本教材编写委员会自行负责编写的，与各种媒体没有直接关系。

本教材由19课构成，由于篇幅所限，无法网罗所有的流行語，有一些流行語虽然编写者十分想列入本教材，但是最后不得已忍痛割爱。例如，近年来在日本经常使用的“アラサー”（指30岁左右的人们）、“KY”（指不识时务，不识趣）以及“女子会”（指只有女性参加的酒宴）等等。

只要阅读了本教材的主课文部分，学习者就会发现本教材的流行語从选题来看非常均衡。在编写过程中面向大学生进行的试用调查中，学习者也高度评价说本教材对他们来说非常有用。此外，编写者组织在日本生活的年轻人对候选的流行語的重要程度进行了调查，同时也对中国学生进行了流行語关心度调查，根据调查结果优先择用。可以说，流行語的选定标准是客观可信的。

最后，衷心期待阅读本教材并产生兴趣的学习者以本教材为契机，今后继续加强本教材没有涉及到的流行語和流行事物等日语知识和日本文化的学习，加深和拓宽对日本社会的理解，也希望本教材成为日语学习者的良师益友。

主课文

【课前思考练习】

在阅读主课文之前，学习者运用自身已有知识和对问题的认识，针对每一课的主题独立进行思考，归纳自己的理解和意见。不要担心自身知识不够，重要的是确认当前自己的想法，为阅读理解主课文做铺垫。

这一部分练习起到了铺砖引路的作用，通过学习者独立思考，归纳当前自己的想法，既可以促使学习者将主课文表达的意见与自己的思考进行对照，加深对主课文内容的理解，也便于学习者整理所学内容，了解自身想法的变化。

【主课文】

新日本语能力测试要求学习者能够读懂涉及各种话题的新闻论述、评论等复杂抽象的文章，理解文章的构成和内容以及读懂内容深刻的文章，理解文章作者的思路和详细的表达意图。

本教材的主课文内容主要是有关流行语及其背景的介绍和作者自身的主张，有利于培养学习者阅读涉及广泛话题、复杂抽象的文章的能力。主课文不仅介绍流行语词汇本身，而且借助日本社会中的流行语和流行现象，有条理地论述了日本人对日本社会的看法，希望学习者能够准确把握这些主张和看法。

17 貸し流り・貸し剥がし

ウォームアップ
WARM UP!

7. 「貸し流り」、「貸し剥がし」という言葉からどんなことをイメージしますか。

8. 「不良債権」という言葉はどんな意味でしょうか。

9. 「不況」のときに銀行はどのような対策をとるべきだと思いますか。話し合ってみましょう。

90年代、2000年代の日本の長期不況の象徴

ここ十年ほどのあいだですっかり経済用語として定着した、「貸し流り」「貸し剥がし」という言葉がある。「貸し流り」とは、金融機関が、企業から借入の申し込みがあった際に、その企業の経営に問題がなくても（つまり返済の見込みにさほどの心配がなくても）貸出しに慎重になり、新たな融資を拒絶することを使う。一方「貸し剥がし」は、既に行った融資について返済期限を前倒しすることを意味しており、貸し付けているお金を引き剥がすように回収することからそう呼ばれている。貸し流りは「融資を拒絶」という消極的な態度だが、それに比べて貸し剥がしは「融資を回収する」という積極的な行為であり、金融機関の強い立場を利用した、より強引な行為であると言えるだろう。

Q1. 貸し流りとは何かを端的に表した5文字で抜き出さない。また、貸し剥がしとは何かを表した7文字で抜き出さない。

貸し流り 「 」
貸し剥がし 「 」

近年の日本の金融機関は、「融資を増やさないこと」を意味する貸し流りと、「融資を減らすこと」を意味する貸し剥がしによって、企業に対する貸出資金の総量を減らそうと努めた。このような、貸付に関する金融機関の引き締めは、金融機関からの借金以外に資金調達の手段が乏しい中小企業の経営者にとって大きな打撃となった。事実、日本の中小企業数は、1996年の332万社をピークに2006年には419万社まで減少している。つまりたくさんの中企業が倒産したわけである。中小企業に対する貸付の減退も、1998年の約340兆円をピークに減少を辿り、2008年には約260兆円の本数となった。この中小企業数と貸出総量の減少には、もちろん様々な要因が考えられるが、金融機関による貸し流り及び貸し剥がしの影響が特に大きいのである。

Q2. 貸し剥がしによって、もっとも影響を受けたのは誰ですか。

なぜ、金融機関は返済に問題のない企業に対しての貸付にまで慎重になり、返済途中の企業から融資を回収するほど強硬な手段を採ったのだろうか。その背景には、日本のバブル経済崩壊に伴う不良債権処理の問題がある。

1998年に「貸し流り」がユークン新語・流行語大賞に選ばれたが、この頃は、日本の金融システムにとって大きな混乱の時期であった。1989年～1992年にかけて起きたバブル経済の崩壊により、不動産業者などに莫大な融資を行っていた金融機関には、回収の見込みの薄い不良債権が大量に残された。そして、不景気が長期化する中で、自力での経営再建が困難となり破綻に追い込まれる金融機関が相次いだのである。当時、大蔵省（現在の財務省）などの政策当局は「大手11銀行については破綻させない」との方針を打ち出していたが、1997年には不良債権の処理が遅れた北海道拓殖銀行が破綻。「日本の都市銀行は政府に守られており、決して潰れない」という神話は、このとき崩壊したのである。さらに戦後の日本経済の復興を担ってきた日本長期信用銀行と日本債権信用銀行も相次いで破綻し、日本の金融システムへの信頼が大きく揺らいだ。このような厳しい状況のもとで、日本の金融機関にとって問題だったのは、金融機関の健全性の確保と公平な国際競争の条件を整えるために1988年に「一ゼル銀行監督委員会」で合意された、いわゆる「B5規制」である。これは、銀行の資産全体の中で自己資本の割合を一定の比率以上に保たなければ国際業務を行うことができないという規制であり、バブル期に自己資本が少いままに貸出額を増やしていた日本の銀行にとっては、大変厳しい内容であった。株価の大幅な下落と不良資産の発生により、自己資本比率が低下した日本の金融機関は、B5規制の基準を守るために貸出総量を減らさざるを得なかったのである。

Q3. 日本の銀行が貸し流りせざるをえなかったのはなぜですか。

その後、政府は混乱を收拾しようとして、金融機関に対する公的資金の注入、つまり銀行の買い取りを決めた。1998年から2001年までに公的資金を約10兆円投入し、金融機関の経営の安定化に努めたこととなった。そしてこの公的資金の注入を契機として、2000年代の日本の金融機関は、政府による管理の下で「不良債権処理」を進めていくことになったのである。

1. 不良債権処理：たとえば、銀行が企業に対して貸付を行って、後日、「貸し」とともにその資金を回収する場合、貸付金を回収する権利のことを「債権」という（逆に、返済する義務のことを「債務」という）。貸付先の企業が経営不振に陥り、返済を滞らせた場合、返済不能となった場合、「債権」は当初の予定どりの資金回収が行えない「不良債権」となる。

2. 日本の都市銀行：銀行は、全国規模で事業を展開する「都市銀行」（メガバンク）と、特定の地方や地域に事業を展開する「地方銀行」に分類されることが多い。

3. 自己資本：企業の金融調達のうち、他人に返済する必要のないもの。

【主课文要点确认练习】

在阅读主课文过程中，为了使学习者确认自己是否正确理解了主课文内每个部分的关键词和重要信息而设置了确认要点的小问题。这不仅对学习者加深理解、把握自己的理解程度有益，也可以使教师有效地把握学生的理解程度。另外，要点确认练习也是学习者独立思考表达自己想法的课后思考练习部分的基础。希望学习者边做要点确认练习边阅读主课文。

【主课文注释】

主课文以流行语为主题，涉及很多与流行语息息相关的社会现象和事件，其中包含中国读者不熟悉的信息，并且在一般的词典中无法查到。因此，为了避免影响学习者理解内容，对此加以解释，供学习者参考。需要注释内容的选定由编写委员会中在大学执教的日语教师结合自己经验并参考已经通过日本语能力测试1级的日语学习者的意见决定。

本教材的使用对象设定为日语能力达到旧日本语能力测试2级水平的学习者,因此选择旧日本语能力测试1级出题标准范围内的词汇和语法以及编写委员会中在大学执教的日语教师结合自己的经验并参考已经通过日本语能力测试1级的学习者的意见选定的词汇和语法进行说明。



在中国国内学习日语并且已经通过日本语能力测试1级的学习者结合自己的学习经验认为有必要解释的词汇。本教材中标注为学习者选定。

【语法】… 接续方法 / 近义表达 / 用法 / 注意点 / 例句

[illegible]

通过副课文,进一步补充主课文未尽内容,介绍有利于理解主课文的背景知识等。副课文重视学习者的兴趣和爱好,提供新的话题,扩充相关语言的周边信息和知识量。副课文和主课文一样设有注释和词汇语法说明,其目的和主要内容与主课文部分相同。

有关语句形式的符号

【N】	名词・名词句
【N-の】	名词・名词句接名词的形式
【A-い】	形容词的终止形
【A-く】	形容词的连用形
【A-ければ】	形容词的假定形
【Na】	形容词的词干
【Na-だ】	形容词的终止形
【Na-だった】	形容词的过去形
【Na-で】	形容词的连用形（后接形容词或部分动词时）
【Na-で】	あれば：形容词的假定形
【Na-な】	形容词的连体形
【R-】	动词的连用形
【V】	动词的终止形
【V-た】	动词的过去形
【V-て】	动词的连用形
【V-ない】	动词的否定形
【V-（ない）】	动词的否定形除去“ない”的形式
【V-まい】	动词的否定意志形
【V-よう】	动词的意志形
【V-る】	动词的连体形
【V-れば】	动词的假定形

其他符号

/	表示“或者”。 [Ex.] “【N/Na】+であれ”，表示“であれ”前接“N”或者“Na”。
()	表示可有可无。 [Ex.] “【N/V/A/Na】+と（は）いっても”，表示“は”可有可无。
例	表示用例。
×	表示错误用例。
下标数字	表示前后使用不同名词或动词。 [Ex.] “【V ₁ -る】+べく+【V ₂ 】”，表示“べく”前后使用不同动词。

第9課 萌え	...	89
本文	オタク文化を通じて現代によみがえる美意識	90
コラム	新しい日本のカーコンテンツ・キャラクター産業の興隆—	98

第10課 ファストファッション (fast fashion)	...	101
本文	安さと手軽さを実現したビジネスモデルの光と影	102
コラム	「ユニクロ」の大きな社会的影響と責任	109

日本の企業と雇用 ... 111

第11課 内部告発・食品偽装	...	113
本文	高まる「消費者保護」への関心	114
コラム	日本企業とサラリーマンの忠誠心	124

第12課 名ばかり管理職	...	127
本文	経営効率化の陰にある、理不尽な過重労働	128
コラム	長時間労働の国—ワーク・ライフ・バランスは確立されるか?—	136

第13課 派遣切り	...	139
本文	「人材派遣」という便利で不安な働き方	140
コラム	「内定取消し」問題	146

第14課 年収300万円	...	149
本文	低成長時代を生きるための発想の転換	150
コラム	現代の貧困	157

日本の政治・経済 ... 159

第15課 小泉劇場・聖域なき改革・構造改革・刺客・郵政民営化——小泉純一郎内閣にまつわる流行語	...	161
本文	大衆社会の見世物政治	162
コラム	郵政民営化	169

第16課 政権交代・脱官僚・政治主導・マニフェスト・事業仕分け——民主党内閣誕生にまつわる流行語	...	171
本文	ビジョンなき政権の誕生	172
コラム	「マニフェスト」とは?	179

第17課 貸し渋り・貸し剥がし	...	181
本文	90年代、2000年代の日本の長期不況の象徴	182
コラム	中小企業金融—日本経済の大きな課題—	187

第18課 埋蔵金	...	189
本文	政策運営についての混迷	190
コラム	戦後日本政権の変遷	196

日本の「今」 ... 197

第19課 AKB48・食べるラー油・政治とカネ・スマートフォン・イイネ!・～なう——2010年の流行語	...	199
本文	10年目を迎えた21世紀—変わる生活、変わらぬ政治—	200
コラム	ウェブから生まれる流行語	205

参考文献	...	206
------	-----	-----

語彙・文法索引	...	212
---------	-----	-----

解答	...	別冊
----	-----	----

食品偽装 ネットカフェ難民 名ばかり管理職 埋蔵金 ファストファッション 政権交代 政治主導 脱官僚 事業仕分け 貸し渋り 食べるラー油 政治とカネ AKB48 ～なう イイネ! スマートフ